

令和4年度 「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧表 (佐久地域)

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (円)	講評	
					うち支援金額 (円)	
1	佐久平地域まるごとキャンパス事業	佐久市	佐久平全体を「キャンパス」と捉えて、NPO、市民活動団体、事業所などが提案する学生向けプログラムに、高校生、大学生等が参画し、地域課題を学び、地域の人たちと一緒に考え、自ら行動する場を提供し、地域協働を推進するとともに、本取組により若者の愛着心を醸成し、将来、地元への定住や就業を促進する。	1,599,805	1,279,000	佐久地域に在住あるいは通学する高校生・大学生等が市民活動団体・NPO等が提供する活動プログラムに参画し、地域課題を住民等と一緒に考え、行動することにより、地元への愛着心の醸成を図った。 今後も本事業を継続し、地元企業や住民等と若者の関係を深め、若者の佐久地域への定着を進めることが期待される。
2	町民から移住希望者まで皆で立科町の未来を考える空き家改修プロジェクト	立科町	利用していない町有の教員住宅を町民や地元高校生、移住希望者を巻き込み改修ワークショップを行うことで、立科町における人口減少や空き家問題を考え解決するきっかけをつくる。	1,310,673	1,048,000	移住相談は増えているものの民間アパートが少ない立科町において、住宅改修DIYワークショップを開催し、空き家改修のノウハウを提供し、空き家活用の機運醸成を図った。 今後は、立科町空き家バンクのHPにおいてDIYワークショップの様子を発信するなど、本事業の情報発信の強化が期待される。
3	東信州中山道発「信州中山道魅力発信連携事業」	東信州中山道連絡協議会	観光客を東信州中山道に誘客するため、長野県内の中山道が通る地域との連携を図ることを目的としたセミナー等を開催し、東信州中山道沿線で案内を行うガイド人の資質向上につなげ、東信州中山道ブランドを確立し、発信していく。	1,710,420	777,000	行政・経済団体・観光協会等が参加する「信州中山道サミット」を開催し、街道観光による地域活性化や、中山道を活かした観光振興について学んだ。 今後は、中山道関連施設の維持管理、文化や歴史の伝承に関する課題について、事業参加者以外にも認識を共有し、具体的な対策を行うことが期待される。
4	地域での防災食の普及	一般社団法人洗楓座	日常時の食事に対する防災意識が薄いことから、日常時と災害時の意識の差をなくす「フェーズフリー」の概念を説明するため、講演会やワークショップを開催し、地域での防災食の普及を進める。	475,131	369,000	災害時にも対応できるよう、体験会において「フェーズフリーの防災食」について学ぶとともに、調理の実践を行った。 今後は、地元区等と連携し、体験会への参加者を増やすなど、防災食を実践する住民を増やすことが期待される。
5	ミヨタのデザインプロジェクト	ミヨタデザイン部	地域住民及び移住者・事業者・行政の3者をデザインの力で繋ぎ、人知的財を生かす土壌を醸成することによって、町の魅力づくりと活性化につなげることを目指す。	2,340,246	1,737,000	ワークショップやフリーマーケットの開催、SNSによるイベントの情報発信等により地元住民、移住者、移住希望者、町外の住民、行政や事業者など様々な方々の交流・情報交換の機会を提供し、町の活性化を図った。 今後は、さらに関係者・関係団体を増やし、町の活性化につなげることを期待される。
6	健康長寿足育サポート事業	佐久市	ヘルスケア産業が盛んな佐久地域において、「歩行」を軸にした健康増進活動を地域住民と共に推進するため、転倒や寝たきり予防に効果的な足育に係る計測会や講習会等を開催し、足育の普及を図る。	1,357,545	1,086,000	足・歩行に着目した健康づくり「足育」を推進するため、小中学生等を対象とした教室や、公民館活動等での歩行計測、足育体操の制作等を行った。 今後は、足育を通じた健康寿命の延伸や、住民が地域とつながる機会の創出を図る取組が期待される。
7	介護予防B型住民指導士の初級・中級・上級養成講座開催事業等	介護予防住民指導者育成支援協議会	住民主体による「通いの場」を提供・運営する住民指導士を養成し、「地域包括ケアシステム」の構築を目指すとともに、介護予防事業を担う住民運動を佐久から発信する。	1,047,140	837,000	住民主体による「通いの場」を提供・運営する住民指導士を養成するための講座を開催するとともに、介護予防住民指導者フォーラムを開催した。 今後も講座を継続するとともに、講座修了者が地域で活躍できるよう支援することが期待される。
8	さく超元気フェスティバル	公益社団法人佐久青年会議所	佐久地域の健康寿命延伸を目指し、地域住民の健康への意識付けや生きがいを見つけることを目的とし、佐久大学や高校生、関係団体などと連携し、健康に関する様々なブースを展開するフェスティバルを開催する。	1,159,662	927,000	佐久地域の健康寿命の延伸や地域の活性化のため、佐久大学やスポーツ団体と連携し、「さく超元気フェスティバル」を開催した。 今後は、関係団体等と連携し、様々な場における健康寿命の延伸に係る取組の継続が期待される。
9	軽井沢町の観光資源を利用した住民参加型「インターバル速歩」実施のためのご当地スマホアプリの開発	国立大学法人信州大学	軽井沢町の観光資源を利用したインターバル速歩を推奨及び実施するため、座学と実技の講義を行う。また、ウォーキングコースのアプリを製作する。	5,356,991	4,267,000	生活習慣病、関節痛、不眠等の改善に効果のある「インターバル速歩」を軽井沢町民に実施してもらうため、位置情報搭載アプリの制作、推奨コースの選定、体験会の開催等を行った。 今後は、体験会参加者や地元団体等と連携し、住民がアプリを使用して「インターバル速歩」に継続的に取り組める環境づくりが期待される。
10	島崎藤村生誕150年記念特別企画展事業	小諸市	島崎藤村生誕150年にあたり、地域住民、全国の藤村ファンを対象に特別企画展、講演会を開催する。幅広い年齢層に藤村への関心をもってもらうための取組として、DMM GAMES「文豪とアルケミスト」とタイアップした企画を展開する。また、地元の演奏団体や児童の出演による藤村詩歌曲演奏会を開催する。	1,071,448	773,000	若年層を含めた幅広い年齢層に、藤村文学に関心を寄せてもらうため、神津猛氏との親交や「破戒」出版までの小諸時代に焦点を当てた特別企画展を開催するとともに、DMM GAMES「文豪とアルケミスト」とタイアップした。 今後は、市内外の若年層にも島崎藤村に興味を持ってもらうよう、積極的な取組が期待される。
11	川上村×クライミングキャンプ2022in小川山	川上村	廻り目平キャンプ場を拠点とし、小川山全体を使ったクライミング啓蒙イベントを開催する。アウトドアクライミングの体験講座やトークイベント等を行い、安全啓蒙や知識の拡充を目指す。また、クライマーや観光客へのPRとして小川山の岩場のイラストマップ看板を整備する。	2,994,000	2,365,000	小川山の自然・観光資源の情報発信を強化するため、フリークライミング啓蒙イベントの開催、イラストマップ看板整備等を実施した。 今後は、更なる情報発信により、県内外からの誘客促進が期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (円)	講評	
					うち支援金額 (円)	
12	古い着物を活かして楽しむ文化継承イベントの実施～第11回城下町フェスタ企画	城下町にぎわい協議会	小諸城下町の歴史的町並み地区における伝統的建物の魅力を伝え、空き店舗の活用のための機運を高めるためのイベントを開催する。また、昔の着物をアレンジしたレトロ感のある着こなしなどの公募を行う。小諸の歴史を活かし、新たな観光イベントとして発信する。	569,459	454,000	城下町として栄えた小諸で、歴史的建造物を生かした城下町フェスタや、着物のフォトコンテストを開催し、文化の承継や観光商業振興に寄与した。 今後も着物フォトコンテストの開催等を通じた文化承継や小諸城下町の魅力発信が期待される。
13	佐久地域の高校生とご当地グルメが連携「佐久高校生ラーメン甲子園」事業	信州佐久安養寺ら～めん会	地元の高校生が佐久地域の食文化や食材を学び、専門家とともに研究・開発した創作したラーメンを販売し、佐久の食材や食文化を継承するとともに、環境問題やゼロカーボン、新型コロナウイルス感染防止対策などの社会の課題を実地で学ぶ機会を創出する。	1,716,933	1,373,000	地元高校生に、魅力ある地域食材を活用した商品開発や、「さく市」における調理、販売、接客までを体験してもらうことで、高校生の企業観や就業観、環境問題や新型コロナウイルスなどの社会課題について学ぶ機会を提供した。 今後は、本事業の継続により地元高校生が地域について学び、職業体験を行う場を提供することが期待される。
14	高大連携活動事業の推進（「動物飼育」を通して、「ケア」を育む実践事業）	学校法人佐久学園	すべての人々に優しい、思いやりのある社会・地域づくりに向けて、動物飼育を通じた「ケア」の育成を実践するため、一般開放できるような飼育小屋の補修を行う。	1,984,094	1,490,000	動物飼育を通じて「ケア」を学習・実践するため5月から10月まで預かっている羊の飼育環境を改善するため、飼育小屋の補修や植栽を行った。 今後は、令和4年度にできなかったワークショップを実践し、大学生、高校生、地域住民を含めた学びの機会を提供することが期待される。
15	佐久市地域防災マップ作成コーディネート事業	佐久市	地域独自の防災体制を構築するため、行政と地域の協働による地域の特性や過去の経験に基づく「地域防災マップ」を作成する。	3,843,291	3,074,000	地域住民が、令和元年東日本台風災害など地域の防災情報について意見交換するため、現地調査や学習会を実施し、そこで出た意見を反映した地域防災マップを作成し、各区に配布した。 今後は、他の地域での事業実施やハザードマップとの情報統合など、更なる取組が期待される。
16	地域を支えるLPガス 保安・防災体験出前教室	長野LP協会佐久支部	LPガス災害対応機器の活用方法の指導及び販売事業者の周知、保安・防災体験教室を開催することにより、地域住民にLPガスの知識と災害対応機器を認知してもらい、災害時の有効活用を図る。	891,088	691,000	LPガスを使用した災害対応機器を住民に知ってもらうとともに住民が実際に使えるようにするため、出前教室を開催するとともに、使用方法の問い合わせ先を記載したLPガス災害対応機器お助けマップを作成・配布した。 今後は、住民が災害時に適切に対応できるよう出前授業を継続することが期待される。
17	常和を元気にする復興まちづくり事業	常和区	復興まちづくりだよりの発行、防災マップ・防災マニュアル作成、防災リーダーの育成、区民向けの勉強会、復興拠点の整備等により、地域防災力の向上を図り、台風19号による被害からの復興に向けたまちづくりを推進する。	894,165	715,000	令和元年東日本台風により被災した常和区において、防災力を強化するため、防災・減災勉強会の開催、防災リーダーの育成、復興まちづくりだよりの作成・配布等を行うとともに、復興拠点等の整備により区民協働による交流の活発化を図った。 今後は、台風災害の記憶や教訓を風化させないよう、勉強会の継続や防災マップやマニュアルの再度の周知等により、全年齢層の防災意識を向上させることが期待される。
18	小海町ゼロカーボン・ワーケーション基盤整備事業	小海町	憩うまちこうみ事業の関係者や効果をベースにしつつ推進協議会を設立し、ゼロカーボン・ワーケーションの実施実験を行うことにより、地域資源を活用した再生エネルギーについて地域住民と関係人口の理解を深めることを目指す。	4,500,000	3,600,000	町内におけるゼロカーボンの取組やワーケーションを推進するため、推進協議会の設置及びワーケーション等を体験する実証実験を実施した。 今後は、協力する企業や住民を増やし、ゼロカーボンへの機運の醸成や具体的な取組が期待される。
19	コミュニティ・パワー まちづくりプロジェクト	軽井沢 ハルニレ・グリーン・クラブ	環境問題、脱炭素社会、自然エネルギーなどの課題や最新の取組を子ども向け環境情報誌やサッカーの試合で紹介する。	5,956,500	4,765,000	脱炭素社会に向けた住民一人ひとりの意識の向上のため、子ども環境情報誌の記事作成・配布や、松本山雅のホームゲームにおいてCO2排出量を実質ゼロにする「ゼロ・カーボンチャレンジマッチ」を実現するためのプロジェクト案の募集や投票を行った。 今後は子どもや、サッカークラブのサポーターなどと、具体的な取組を行うことにより、住民一人ひとりが環境問題を自分事として取り組めるような事業構築が期待される。
20	白樺林の保全を目的としたソーシャルビジネスの基盤構築事業～白樺を核とした地域ブランドの普及促進に向けて～	信州白樺クラフト製作所	白樺高原エリアの白樺林を守り、美しい景観を保つための間伐等により森づくりを行い、その過程で出た白樺を有効活用して白樺樹皮細工や白樺クラフトを製作・販売することで、白樺林の保全に向けた好循環を作り、地元の居場所と手仕事を創出する。	898,280	686,000	白樺を核とした地域ブランドの普及促進のため、白樺林の整備、白樺樹皮細工を使用した商品開発や広報を実施した。 今後は、地元小中学生も含め住民にも改めて白樺林の価値を共有し、地域全体として白樺林の保全・ブランド化に向けて活動していくことが期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (円)	講評	
					うち支援金額 (円)	
21	FMラジオを活用した佐久地域PR事業	佐久広域連合	ラジオ放送を活用して全国および首都圏へ向けて佐久地域の魅力を発信することにより、認知度向上、観光誘客の拡大や移住の促進を図る。	4,499,000	3,599,000	全国コミュニティFM局に向けた公開生放送や、首都圏ラジオ局での放送及び番組HPでの情報発信により、佐久地域の農産物やワイン、星空を始めとする魅力の発信を行い、佐久地域の認知度向上や観光誘客、移住の促進を図った。 今後は、どのような啓発が実際の誘客や購買等につながるか検証し、効果的な啓発を実施していくことが期待される。
22	野辺山グラベルフォンド事業	野辺山グラベルフォンド実行委員会	ロードサイクリングイベントのグラベルフォンドとランニングイベントの開催を通じて、南牧村野辺山高原の大自然を肌で体感してもらい、その体験を発信してもらうことにより観光振興へ繋げる。	6,234,000	3,464,000	国内外のサイクリストが集まる野辺山グラベルフォンドを開催し、ハケ岳・野辺山の大自然を参加者や観光客に発信し、観光振興を図った。 今後は、大会の継続によりブランドを確立し、更なる参加者等の増加により、南佐久地域一帯の観光振興が期待される。
23	魅力あふれる天空の小海線を世界へ！小海線PR事業	小海線沿線地域活性化協議会	小海線沿線地域を歩きながら紹介する動画を作成し、小海線及び沿線地域の魅力をPRし、アフターコロナに向けた沿線地域への更なる誘客を図る。また、観光客向けの避難場所等の情報を発信することで、安心・安全の確保をめざす。	3,041,500	2,433,000	小海線応援大使が歩きながら沿線地域の様子等を紹介する動画を制作するとともに、防災対策のため、避難場所等の情報を動画内やパンフレットの地図に表示して周知した。 今後は、作成した動画がより多くの方に視聴されるよう、小海線沿線地域の自治体の観光マップに動画の2次元コードを組み込むなどの工夫が期待される。
24	ビーナスライン・スノーエリア活性化プロジェクト	ビーナスライン・スノーリゾート協議会	ビーナスライン沿線の住民と事業者間での連携を強化し、認識を共有したプロモーション事業を行うことで、選ばれる観光地としての成長や発展を継続的に取り組む。	6,215,000	4,972,000	ビーナスラインエリアへの誘客のため、観光看板・案内板のユニバーサルデザイン化、国内外でのプロモーション活動を行った。 今後は、SNS広告も含め、様々なアプローチにより国内外からの誘客を促進することが期待される。
25	令和4年度「小諸の米」ブランド化事業	小諸市	持続可能な農業を目指すため、関係者・組織が連携し「小諸の米」及び地域のお米の魅力向上を図り、収益力の高い農業を実現する。そのために「米づくり学校・小諸」「大会実行委員会」「米飯官能鑑定士養成講座」「米・食味分析鑑定コンクール視察」「米・食味分析鑑定コンクールIN小諸」を開催し、生産者や住民の意欲向上を図りブランド化に向けた事業の展開を推進する。	14,185,198	5,000,000	「小諸の米」のブランド化を図るため、水稻生産能力のスキルアップ講義、米飯官能鑑定士の養成、米・食味分析鑑定コンクール等を実施し、コンクールでは国際総合部門で市内の生産者が金賞を受賞した。 今後も、生産者、行政、関係機関が連携し、米をはじめとした農作物のブランド化が期待される。
26	佐久鯉ブランド振興事業	佐久市	佐久鯉をPRするため、試食イベント等の開催や、週刊さくいだいらでの調理方法の広報などにより、佐久鯉のブランド力を高め、生産量の増加を図る。	523,460	418,000	県外の連携・情報発信拠点でのブース出展や試食イベントの実施、佐久地域等での広告を通して、佐久鯉のブランド化を図った。 今後は、県外での試食会やブース出展の機会を拡大など、県内外で佐久鯉の周知やブランド化を進めることが期待される。
27	佐久穂町 プルーンのブランド化による地域活性化事業	佐久穂町	長野県限定のプルーンをブランド化し紹介することにより、佐久穂町だけでなく、佐久地域や長野県のすばらしさをPRしていく。また、プルーンの付加価値化を図ることにより、果樹農家へのU・I・Jターンの新規就農者の増加や生産量の増加をめざす。	4,748,900	3,691,000	佐久穂町産のプルーンのブランド化を進め、県内外にPRするため、商品開発、販促資材を作成し、販促イベントを開催したほか、地域全体でのブランド化を進めるための町民向けイベントを開催した。また、適切に保管・出荷調整を行うため氷感庫を導入した。 今後は、更にブランド化を進めながら新規就農者を確保することが期待される。
28	有機堆肥で環境に優しい農産物作り	山の中ガーデン小径	有機野菜作りの体験、オーガニック給食のワークショップ、講演会などを通じて、環境再生型農業の実践につなげ、カーボンニュートラルを推進する。	418,342	332,000	小学生に、環境に優しい有機堆肥を使用し農産物を育ててもらい、その農産物を使った給食を考えるコンテストを開催した。また、フランスの給食を紹介する講演会・ワークショップや、有機農業に係る講演会を実施した。 今後も小学校等と連携しながら、有機農業に係る知識と体験を得られる機会を更に増やすことが期待される。
29	コロナ禍を乗り越える新たな直売所づくり	小海町農産物加工直売所の会	コロナ禍においても町民が気軽に買い物ができるように、ニーズに合わせた直売所の販売体制を整える。町民の声の反映させて、地域密着型の直売所の組織づくりを構築する。	2,123,854	1,661,000	コロナ禍においても農産物を売買しやすい環境を整えるため、農産物のWEB販売システムを構築した。また、学校給食等に新鮮な野菜を提供できるよう、鮮度保持設備を導入した。さらに、直売所の重要性の認識を共有するための講演会等を開催した。 今後は、WEB販売サイトを様々な媒体で紹介するなど、より利用者が増えるような取組が期待される。
30	みんなで作る！安心・安全・楽しい！中込手書きマップ活用事業デジタルアップデート版	中込商店会協同組合	地域住民との協働で作成したデジタルマップを活用し、商店街と中学生の協働によるイベントの実施や、店舗情報・集客PRを行い、地元商店街の再興を図る。	2,676,935	2,141,000	コロナ禍により減少した中込商店街への来街者を増やすため、商店街のデジタルマップ制作、高校生や有識者の参加したゼロカーボンワークショップの実施、広報等を実施した。 今後はデジタルマップのPRを継続し、更なる利用者拡大、中込商店街活性化につなげることを期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (円)	講評	
					うち支援金額 (円)	
31	2050年ゼロカーボン達成に向けた環境意識啓発事業	立科町	地球温暖化や気候変動に関する動向や取組、その他環境に関する情報を環境情報紙として作成し、町民に配布する。また環境フェアに出展し、環境意識を醸成する。	1,650,000	1,320,000	環境情報紙の作成・全戸配布、環境フェアにおける講座の開催、小型小水力発電に関する学習会の開催、ふるさと交流館における環境ブースの設置等により、町民の環境意識啓発を図った。 今後も、啓発資料作成と併せて、町民が具体的に取組を考える機会の創出を行うとともに、各事業の効果検証を行うことにより啓発効果の高い事業の構築を行うことが期待される。
32	ワーケーションや開発合宿による新しい働き方誘致事業	立科町	過去2年間取り組んできた白樺高原エリアを中心とした町内の資源を活用し、「ワーケーション・開発合宿等の開催誘致」をさらに受入数を増加させることで、主に観光産業への利益創出を図ることと併せて住民ワーカーへの業務発注に結びつく企業との関係性を構築する。	3,540,999	2,832,000	立科 WORK TRIPについて、インターネットを活用した広報展開、法人営業を行う旅行代理店向けの営業資料作成等を行った。 今後は、女神湖畔のワーキングスペースと連携しながら、更なる利用増につなげることが期待される。
33	こもろふれ愛フェスティバル	一般社団法人小諸青年会議所	子ども達が参加するフェスティバルを開催することにより、子ども達に地域の温かさ、郷土の良さを知ってもらい、小諸市へのリピーターを増やし、若者のUIターン就業の促進を目指す。	5,093,734	4,074,000	子どもたちの思い出作り、絆づくりのため、こもろふれ愛フェスティバルを開催し、職業体験、ステージ発表、飲食店ブース等を展開した。 今後は、より子どもたちが小諸に愛着を持てる企画の実施が期待される。
34	地元の企業で作る佐久ウエディングPRイベント	佐久プライダル協議会	佐久地域の資源を生かしたオリジナル性が高い挙式の仕組みを作り、周知することにより、他市町村へ転出したカップルに地元・佐久地域での挙式と、移住・定住を促進するとともに、地域内の経済循環を図る。	1,487,425	1,115,000	佐久でしか挙げるできない「佐久オリジナルウエディング」を周知するため、ぞっこん！さく市において、フォトウエディングの実施、「佐久オリジナルウエディング」の説明・相談会等を行った。 今後は、「佐久オリジナルウエディング」の広報・実施を通じた佐久地域の活性化が期待される。
35	2022佐久っとサイクル推進プロジェクト	佐久地域自転車活用推進協議会	自転車を活用した「健康づくり」や「関係人口づくり」を推進するとともに域内観光を促進するため、「佐久っとサイクルプロジェクト」で設定されたコースの試走や、自転車を活用した健康づくりセミナー等を実施する。	2,153,250	1,722,000	佐久っとサイクルプロジェクトで設定されたコースを使ったガイドサイクリング等により、私生活での自転車活用推進、健康づくりへの意識向上、関係人口づくり等を図った。 今後は、効果的な広報による参加者の増加が期待される。
36	御影用水の観光、教育、啓発推進事業	御影用水・陣屋応援隊	約370年前に開削され、昭和の大改修を経て現在に至るまで活用されている御影用水・千ヶ滝湯川用水の適切な維持及び災害防止、観光発信、教育・啓発を行うため、オンライン講習会の開催、SNS発信、電子教材の発行等を行う。	846,731	650,000	御影用水・千ヶ滝湯川用水について住民や観光客に周知するため、その歴史と役割をSNS、YouTube、講演会、リーフレット等により広報した。 今後は、地域の財産として近隣の小中学生にも知ってもらえるよう、学校等と連携した取組が期待される。
37	「快適健康都市SAKU」にて出会うビジネスを求めて～SAKUメッセ2022～	一般社団法人佐久産業支援センター	佐久市の強みである「健康長寿・医療福祉」と製造業における「尖った技術」を結び付け、佐久市を「快適健康都市」としてブランディングし、域外へ発信するとともに、佐久市民へ検診の必要性を啓発するため、「SAKUメッセ」を開催し、ものづくり産業やヘルスケア産業の活性化を図る。	14,832,745	3,304,000	佐久市を「快適健康都市」としてブランディングし、域外にアピールするとともに、市民の健康意識を向上するため、健康産業や製造業等の展示会やビジネスマッチング、市民向け展示を実施した。 今後は、より市民が参加しやすくなるよう展示内容や広報を工夫し、市民の健康への関心が高まるよう働きかけることが期待される。
38	南牧村イベントプロモーション強化事業	南牧村	県内外からの誘客を促進し、南牧村の観光業をはじめ産業全体の活性化を図るため、ランディングページの作成や村内の協賛店で使える電子クーポンを活用する。	3,091,000	2,472,000	イベント専用のランディングページを立ち上げるとともに、電子クーポンシステムを導入することにより、観光地への集客や、飲食店やお土産店等の利用促進、地域一帯のデジタル化の進展を図った。 今後は、本事業を踏まえ、引き続きデジタル化を含めた新しい事業施策への取組が期待される。